



理想へ



題字：仙頭明奈先生

《学年の先生より》

「学校をサボった話」

学年副主任 篠田 明代

私は、高校生のとき、1 回だけ学校をサボったことがあります。高校 3 年生の 2 学期後半だったと思います。当時、家で勉強がはかどらない私は、放課後や休みの日に、学校の近くにある市民会館の自習室を利用し、勉強していました。ある日の昼休み、先生に何も言わず早退し、勉強するために自習室に行きました。1 月のセンター試験(今の大学入試共通テスト)が迫ってきて、勉強しないと…と、気持ちが焦っていました。

しかし、いいことはありませんでした。学校をサボって自習室で勉強したからといって、焦る気持ちは穏やかになりません。それどころか、普段と違うことをしたものだから、なんだか落ち着きません。放課後になって自習室に来た友達に「先生、めっちゃ怒ってたで」と言われました。翌日、めっちゃ怒られました。本当にいいことはありませんでした。

その後、学校で授業を受け(入試対策の授業も、そうでない授業も)、友達とおしゃべりして、放課後は自習室で勉強する、という普段通りの生活をする中で平常心を取り戻し、毎日の積み重ねによって自信をつけることができました。センター試験の前日、泣き出してしまうほど緊張していたけれど、いつものように学校に行き、友達と励まし合うことで気持ちが落ち着きました。卒業間近になると、高校生活が終わってしまうことが惜しくなり、あのとき早退したのはもったいなかったなあ、という気持ちになりました。

3 年次はスタートしたばかりですが、須磨友が丘高校最後の 1 年です。残り少ない学校生活を一日一日大切に過ごすことが、進路実現に向けての力にもなるはず。私にとっては 41 回生のみなさんとの最後の 1 年。大切にしたいと思います。

《学年企画行事》2025. 4. 10

新学期、新しいクラスがスタートして間もない中、学年企画行事としてユニバーサルスタジオジャパンへ行ってきました。新しいクラスメイトで班を作るのは少し緊張もあったかと思いますが、思い思いにパーク内を回り、楽しめたのではないのでしょうか。今回はミッションとして各班さまざまなシチュエーションで写真を撮ってきてもらいました。その写真の一部を掲載します。





《大学入試について》

今まで講演会等で何度か受験方法の種類について説明を受けたことがあると思います。もう一度受験方法を確認し、計画を立てましょう。

受験	時期(準備から試験まで)	選考方法など	専願か併願
総合型選抜(旧AO) (私立国公立共に)	早いところは 6月から準備	学力以外で選考する傾向 書類選考、集団討論、小論、授業レポート、保有資格 etc 準備時期が早く大変だが、その分倍率が低いところも	専願
学校型推薦 (私立指定校)	9月から12月	学校内で選考、実際の入試は11月、12月に行われる 第1志望の本当に行きたい大学、学部、学科だけ申し込む	専願
学校型推薦 (私立公募制)	10月後半から11月	2教科での受験が多い、概ね学力試験 すべり止めとして受験する人多い 関関同立はない(現時点で)	概ね併願 専願もある
学校型推薦 (国公立)	10月から2月上旬まで	面接、小論、学力試験、共通テスト 共通テストを必要とするところもあればないところもある 地方は倍率低いところあり	専願
一般入試 (私立)	1月から2月	概ね2科目か3科目 共通テスト併用、利用など受験方法多数 学力勝負	併願
一般入試 (国公立)	共通テスト 2月25日	共通テストと個別試験(学力試験、小論、面接)	専願ではない
後期一般入試 (私立)	2月から3月	最後まであきらめない 後期募集のない大学もある	併願
後期一般入試 (国公立)	3月	共通テストと個別試験(学力試験、小論、面接) 実質倍率は低くなる傾向、最後まであきらめない	専願ではない